

会議録

会議名 (審議会等名)	相模原市南区区民会議		
事務局 (担当課)	南区役所区政策課 電話042-749-2134 (直通)		
開催日時	令和7年5月26日(月) 10時00分から11時45分まで		
開催場所	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム1		
出席者	委員	18人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	7人(南区長、他6人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 区長挨拶</p> <p>3 議題</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 副会長選出</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 南区基本計画に示す取組目標の進捗について</p> <p style="margin-left: 40px;">取組目標Ⅳ 交流と魅力あふれるにぎわいのあるまちをつくります</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>		

審議経過

主な内容は、次のとおり。(○は委員、●は事務局の発言)

1 開会

2 区長挨拶

加藤南区長から挨拶を行った。

3 議題

(1) 副会長の選出

区民会議規則に基づき、副会長の選出を行った。

田村小次郎委員から、副会長選出に際し事務局案はあるかとの問い掛けがあった。事務局から、在任期間等に鑑み田村久司委員とする案を提示したところ、出席委員全員からの了承が得られ、同委員が副会長に就任した。改めて田村久司副会長から就任の挨拶がなされた。

(2) 南区基本計画に示す取組目標の進捗について

資料に基づき事務局から説明が行われた。

- 第8期第4回の議題「取組目標Ⅳ 交流と魅力あふれるにぎわいのあるまちをつくります」については、「都市機能が充実したまちづくり」と「活力あふれるまちづくり」の二つのテーマが設定されている。公共交通の問題、道路整備の問題等の都市機能について普段住民と接する機会が多いまちづくり会議の各委員から意見を伺いたい。(井坂会長)
- 大野中地区では、淵野辺・中和田線の古淵鵜野森公園前交差点付近に、これまで懸案であった歩道が整備されることになった。また、中学校の給食センターの問題について、概ね設計の段階となり説明会があった。鵜野森のプール周辺がこの1、2年で整備されると聞いている。しかし、まだ狭い道路もあり、歩車分離が難しいところもある。(田村小次郎委員)
- 新たな拠点の整備、魅力ある商業地づくり、商工業の振興、幹線道路の整備推進の中で気になるところはあるか。(井坂会長)

- 既に住宅が密集しているため、道路を広げることに難しさがある。車いすが相互にすれ違えるほどの広さを実現することや、歩道と車道を分離することはハードルが高く、実施するには地域住民の立ち退きが必要になるなど難しさを感じている。また、空き家問題についても対応に課題を感じている。(田村小次郎委員)
- 大野南まちづくり会議で課題となっているのは、令和 8 年 3 月に閉鎖が予定される南市民ホールについてである。内容としては閉鎖後の計画が明らかにされていないこと、代替施設としてグリーンホールが挙げられているが、どの程度の代替が可能なのかが明らかになっていないこと、南区合同庁舎の長寿命化に関する計画が明らかになっていないことの三点である。大勢の区民が集まる場所なので、進捗状況を早めに明らかにしてほしいとの声が挙げられている。また、駅前の関係だが、伊勢丹跡地のマンション建設に伴い、コリドーの修復や中央公園の改修に関心が高まっている。コリドーと中央公園の担当課が異なっているが、横断的な調整をしてほしい。商業振興については、相模大野の 4 つの商店街がコリドーにて「ひるいち」を開催する計画がある。相模大野駅に住んでいる人達に利便性の高い安全な街になるよう努力していただきたい。さらに、都市計画道路の延伸が滞っている事案や、計画道路上に住宅建築が行われる事案が散見される。事業を推進できないのであれば、高齢化に対応した都市機能の集中や、人口減少地域への対応に振り向けるなど、上手い活用を検討していただきたい。(中村洋子委員)
- 今回答える範囲で、ホールや南区合同庁舎改修についての情報はるか。(井坂会長)
- 南市民ホールについては、文化の拠点として機能してきた経過があるので、引き続き担当部局との調整を図り、市民の意見を伺いながら、代替施設を含めて市として計画を立てていく所存である。合同庁舎の在り方については、今年度に基本構想を策定する予定である。今後、この会議で進捗を報告させていただく。(南区役所区政策課長)
- 新磯まちづくり会議では、昨年、上磯部の交差点でダンプカーとの接触による自転車の死亡事故が発生したことにより、新磯地区の自治会連合会や P T A 等の 6 団体の会長が市へ要望書を提出した。今年度の 7 月に当該交差点が歩車分離に改修され、一安心しているところである。その他にも、歩道が狭い箇所があり、整備を要望している。新磯桜まつり会場の桜は樹齢 60 年を経過しており、昨年度そのうちの 1 本が倒れてしまった。樹木医に診

断を依頼したところ、半数以上の桜が寿命を迎えていることが判明した。これからどうやって植栽しながら維持していくかが課題となっている。自治会の加入率が50%を切ってしまった。自治会に加入していない住民の意見をどうやって集約するのが課題だが、対応策としては、自治会加入に関係なく、大風を含めたイベントへ協力をお願いするチラシを配布し、地域一丸で実施できる活動を計画している。米づくりの後継者問題やごみ問題による環境整備についても検討中である。防災については消防団員の高齢化と活動費の不足が課題である。公共交通についてはバスの本数が少ないため、グリーンスローモビリティを導入している。活動頻度が、昨年度の週3回から今年度は週6回にしたので、ボランティアを100人程度募集する予定である。(鈴木真司委員)

- ドライバーの資格等条件を教えてください。(井坂会長)
- 普通免許を取得し、講習を1日受講することで勤務できる。(鈴木真司委員)
- 保険についてはどうか。(井坂会長)
- 市で加入している。(鈴木真司委員)
- 相模台まちづくり会議では、サウザンロードの交通マナーが悪く、自転車と車の接触事故や死亡事故が発生していることが議論された。相模原南警察署と協議し一方通行路の駐停車の取り締まり強化を実施している。また、狭あい道路が多く消防車の通行が難しいので、地震災害等による火災が発生した場合の延焼を懸念し、防災訓練を強化している。交通に関しては乗り合いタクシーの実証実験を昨年同様に実施することを市から聞いている。公共事業についてはA&Aの開発事業を急いでいただきたい。北里通りの拡張により自転車事故が減少することを期待している。(中村明委員)
- 資料ⅠのR5の実績値が空白で昔の情報に基づいた評価なのが気になった。まちづくりについては、都市機能に関わる内容として、資料ⅡP50の広域交通ネットワークの形成施策の中で、鉄道駅ホームドア等整備事業に相模大野駅と相模原駅が記載されているが、小田急相模原駅と相武台駅前はどうなるのか自分たちが住んでいる近くの駅ということで気になった。自転車レーン等の整備についても順次進めていただきたい。(浅田委員)
- 事務局は、資料ⅠのR5実績値の空欄について説明を。(井坂会長)
- 本資料については、市の政策課がまとめた資料であるが、資料は現在最新の内容である。

追加情報があれば改めてお示しする。(南区役所区政策課)

- 件数や実積率がどうやって出されているのかホームページで見られると良い。(浅田委員)
- 東林地区では、自治会の加入率が既に 50%を切っている。民生委員等の依頼や周知は、本来は全戸配布して住民の方々にお知らせしたいが、自治会を介しての回覧や掲示板しか活用できていない。住民ではなく、通りがかりの人がごみを捨ててしまうので、ごみ置き場のカラス対策用箱型ネットを購入し自治会員が負担した。東林地区で良かったことは消防分署の建替計画が決まり、救急車が入ることになったことである。ただし、新分署の開所までは 3 年ほどかかるため、まちづくりセンターの駐車場が使いづらくなることが懸念される。(田村久司委員)
- これまでまちづくり会議の皆様からの意見を聞いたが、質問等を伺いたい。(井坂会長)
- 歩道について、道の凹凸によりお年寄りの歩行や車いす等の通行が難しいので整備していただきたい。(佐田委員)
- 道路の整備は所管がまたがると思うが、どういう形で要望を受け付けるのか？(井坂会長)
- 通報を受けた土木事務所が現状を確認しているが、整備については、緊急度合に応じて優先順位をつけて整備している。また、「パッ！撮るん」というツールを活用してスピーディーに現状把握ができる取組も行われている。(南区役所区政策課長)
- 道路の端に自転車の安全な通行を促すための矢羽根をつけることで自転車と歩行者の安全を確保することができる。自転車のマナーの悪さに危険を感じる人が多いので整備を早くしてもらいたい。(田村久司委員)
- 交通の問題だが、来年の 7 月から歩行者と自転車の罰則が強化されてそれなりの効果が出ると思うが、矢羽根の道路整備対応の他に、行政が実施する自転車や歩行者の安全に資する事業を教えてください。また、自治会の加入離れに関して、市でも対応策を検討していることは承知だが、さらに自治会との連携強化をお願いしたい。(渋谷委員)
- 南区としては、自転車の安全運転啓発の取組として、5 月の連休明けに、区内 4 つの高校で反則金制度についてのチラシ配付や、交通量が著しく多く事故の多発する県道 52 号(北里通り)の交通状況を踏まえ北里大学と連携した交通安全周知チラシの配付を実施した。(南区役所地域振興課長)

- 活力あふれるまちづくりについて、初参加の西尾委員の意見を伺いたい。(井坂会長)
- 先ほど地域のみなさんの課題を聞きながら、ジェイコムとして何ができるのか考えていた。直近の事業では、伊勢丹跡地に建設中のマンション内の広場を舞台に、ディベロッパーとともにエリアマネジメントを立ち上げ、様々なイベントを企画・実施するなど駅の賑わいを高める計画をしている。来年5月にオープンし、入居は年明けからということで、地域のみなさんと相談しながら進めていきたいと考えている。(西生委員)
- 鈴木真司委員がおっしゃった自治会の加入率が50%ほどになっているのは、若者が減っているのか、それとも全体的に下がっているのか教えていただきたい。(隈本委員)
- 新磯地区では新しく入居した人でも1割しか加入しない。高齢の方は自治会に加入すると役員をしないといけないので、役員を避けてやめてしまうケースもある。(鈴木真司委員)
- 若者が減っているだけでなく高齢の方も減っているので若者向けの対策と高齢者向けの対策の2つがある。若者の地域活動やコミュニティー交流が減っている理由は、ネットによるコミュニティーが地域コミュニティーを補完していることと関係があるのではないかと。高齢者に向けては、パンフレットを作ることが効果的で、若者に向けては「推し活」や「アニメ」等、若者が好きなものを、今あるコミュニティーと繋げる形にする方法が興味関心に繋がると思う。(隈本委員)
- 相模大野にはたまり場(=居場所)がない、と学生から聞くが、その辺はどう考えるか。(井坂会長)
- 交通インフラの整備、区民ホール等施設を整備するというハード面の話しが多いが、若者が集まらないのは、場所ではなく気持ち・ソフト面の問題ではないか。その場所へ行きたいという動機や、出たくなるようなきっかけを作ることができれば良いのではないかと。(隈本委員)
- 相模原・町田エリアで地域を盛り上げる、活性化させることをテーマにしている法人である。中心市街地の商業施設、公共施設や駅周辺の盛り上がりは、街全体の盛り上がりにつながると考えている。買回り品の購入に町田に行ってしまうということだが、そもそも町田には商業施設が多く、ルミネや小田急百貨店等それぞれ客層が違う施設が複数ある。相模大野についてもステーションスクエアやポーノといった大型商業施設があるが、そこに

入るテナントについては、区民の意見を取り入れていくのが良いのではないかと。最近町田駅前にはできた地ビールのバーでは地産地消の取組をしている。相模原にもワイン等推せるものがあるので、相模大野駅で楽しめるコンテンツを整備し、目的になるテーマを考えると良いのではないかと。(松本委員)

- 交通について、先ほど磯部地区でボランティアの話題があったが、継続的にやっていくことは難しいのではないかと。また、バスの運転手の件では、神奈川中央交通からも発表されているが数年後には路線の半分も維持ができないという緊張感がある。活気あふれるまちづくりでは人の流れが重要である。目的があって動いているのか、駅の乗り換えでたまたま人がいるのか、では目的に大きな違いがある。ゴミの問題などもこういった会議が行政とタイアップし、結果に繋がることを望む。(小池委員)
- 「魅力」という部分でユニコムプラザを拠点に学生と活動している。相模大野は学生からシニアまで魅力がものすごくあるが、十分に伝わっていないと思う。それにはPRの方法を考えることが重要であり、そのことが起爆剤となって若い人を呼び込めると思う。イベント情報が自動的に入ってくるよう、駅にある大きな柱や公民館等の入り口周辺にポスターを貼ったり、イベント主催者が互いをPRしたりすると良いのではないかと。(遠木委員)
- 文化財団は、南区の「相模女子大学グリーンホール」、「南市民ホール」、「オダサガプラザ」、緑区では「杜のホールはしもと」、「城山文化ホール」の指定管理者を受託しており、文化の視点・ソフトの面でまちのにぎわいを創出する事業を行っている。「相模女子大学グリーンホール」は若者向けのイベントが多く入っており、SNS等ではグリーンホールの名前が頻繁に登場している。ホール以外では、小学校やステーションスクエアでアウトリーチ的なコンサートを行っている。今後も文化面から魅力あふれる活力あふれるまちづくりに貢献したい。(後藤委員)
- 4月の桜まつりの青年会議所ブースで、魅力あるまちづくりの一環としてモニュメントを作成した。防水加工を施して市役所に設置する予定である。今後、6月中旬の環境まつりでも設置するが、以降の行き先が決まっていない。緑区、中央区が候補に出ているが、南区に置かせてもらいたいと考えている。フォトスポットとして活用して、大学や商店街に置く場所があれば連絡をお願いしたい。「活力あふれるまちづくり」の文言はよく耳に届

く日本全体の課題でもあるので、もっと深耕して色々な課題を抽出してほしい。(姫野委員)

- 中央公園にも置けるものか。(井坂会長)
- 防水加工をしているもので、外に置くことを想定している。(姫野委員)
- 経済団体なので相模原市の経済発展を目的に活動しており、45歳までの青年が主体となってイベントを開催したり、「相模の大凧」や「さがみはらフェスタ」に参加するなどの活動を行っている。その中で、相模原市内のお祭りを簡単に見られる一覧表があれば良いと思った。(大西委員)
- どんな事業でも30年の寿命であると考えており、にぎわいのあるまちづくりができるようにしていくには、市民のニーズを聞きそれを吸い上げる形で知識や意見を反映することが肝要ではないか。(草薙委員)
- なかなか問題解決が進んでいかないものもあるが、現実問題として掲げられているテーマに反対する人はいないと思う。住んでいる地域や職業が違って、まとめることは簡単ではなく、逆に簡単に解決できれば問題も起きていないことになるのではないと思う。ここは共有の場であり、またこれらの意見を活かしていければと思う。その他質疑を伺う。(井坂会長)
- 会議での意見を次回までにペーパーにしてお出しいただきたい。(中村洋子委員)
- 会議録についてはホームページへの掲載と郵送させていただく。(南区役所区政策課)

4 その他

- 事務局より次回区民会議を8月に予定している旨の連絡があった。

5 閉会

別紙

相模原市南区区民会議委員名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	田村 小次郎	大野中地区まちづくり会議		出席
2	中村 洋子	大野南地区まちづくり会議		出席
3	中島 勝平	麻溝地区まちづくり会議		欠席
4	鈴木 真司	新磯地区まちづくり会議		出席
5	中村 明	相模台地区まちづくり会議		出席
6	浅田 聡	相武台地区まちづくり会議		出席
7	田村 久司	東林地区まちづくり会議	副会長	出席
8	鈴木 貴市	相模原南交通安全協会		欠席
9	佐田 昌史	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
10	草薙 喜義	相模原市社会福祉法人経営者協議会		出席
11	渋谷 典彦	相模原市22地区社会福祉協議会南区連絡会		出席
12	渡辺 美帆	子育て応援団W i t h		欠席
13	大西 麻衣	相模原商工会議所		出席
14	姫野 大輔	相模原青年会議所		出席
15	後藤 弘幸	相模原市民文化財団		出席
16	遠木 ナオ	チームユニバース運営委員会		出席
17	井坂 聡	相模女子大学人間社会学部	会長	出席
18	藤田 百合	女子美術大学芸術学部		欠席
19	朝日田 卓	北里大学 地域連携室		欠席
20	小池 清史	公募委員		出席
21	嶋村 裕子	公募委員		欠席
22	松本 圭介	公益財団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム (市民・大学交流センター)		出席
23	隈本 光	南区若者参加プロジェクト実行委員会		出席
24	西生 篤	ジェイコム湘南・神奈川 相模原・大和局		出席